



いきいき暮らす
緑と文化のまち“板橋”

甲第 16 号証

[トップページ](#) > [こんにちは、区長です](#) > [スナップフォト](#) > 福島県大熊町長と議長が板橋区を来訪(平成24年5月11日)

福島県大熊町長と議長が板橋区を来訪(平成24年5月11日)

公開日:平成24年5月21日

最終更新日:平成26年5月8日

5月11日、福島県大熊町の町長と議長の一行が、板橋区を訪れ、大熊町を故郷にもつゲンジボタルが飼育されている板橋区ホテル生態環境館(板橋区高島平四丁目21番1号)を見学されました。

板橋区ホテル生態環境館は、豊かな環境を取り戻す象徴としてホテルの飼育を行っています。同館で飼育されているホテルは、平成元年(1989)、福島県大熊町からゲンジボタルの卵を約300個、栃木県栗山村(現・日光市)からヘイケボタルの卵約700個を譲り受けたものを羽化させ、代を重ねたもので、現在、23世代目を迎えています。

この日(11日)、同館を訪れたのは、福島県大熊町の渡辺利綱(わたなべ・としつな)町長、千葉幸生(ちば・ゆきお)議長ら4人。同館で、大熊町を故郷にもつゲンジボタルが元気に光を放っていることを知った町長らが、東京での会議の予定に合わせて、同館を訪問することとなりました。

午前10時、同館に到着した渡辺町長と千葉議長一行を、坂本健(さかもと・たけし)板橋区長が出迎えました。そして、同館の阿部宣男(あべ・のりお)館長の案内で、町長一行は、ホテルの棲める自然の川辺の環境を再現した「ホテルのせせらぎ」を見学しました。

ふるさとのホテルを見学した渡辺町長は「大熊町のホテルが元気に世代を重ね、光を放っていることは、町民にとって故郷を懐かしむ非常にうれしい話題であり、帰還を願う希望の光でもあります」と、坂本区長は「板橋で育った故郷のホテルを通じて、少しでも大熊町の皆さまの心の支えになれば、うれしいです」と話していました。

渡辺町長一行は、1時間ほど見学や懇談をして、同施設を後にしました。



見学の様子(右から渡辺町長、千葉議長)



握手する坂本区長(中央)と渡辺町長(右)

ご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページに関してご意見がありましたらご記入ください。(500文字以内)

- ・住所・氏名・電話番号などの個人情報は記入しないようにお願いします。
- ・回答が必要なご意見等はこちらではお受けできません。フォームメールをご利用ください。
- ・文字化けの原因になりますので、丸付き数字などの機種依存文字や半角カタカナは使用しないでください。

送信する

作成部署

〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号

政策経営部 広聴広報課

電話番号:03-3579-2024 FAX番号:03-3579-2028

メールでのお問合せは[ここをクリック](#)(SSL対応)

板橋区役所 郵便番号173-8501 東京都板橋区板橋二丁目66番1号 代表電話番号 03-3964-1111

FAX番号(広聴広報課受付) 03-3579-2028

[各課へメールを送る](#)

[開庁日時](#) [このサイトについて](#) [リンク集](#)



地方公共団体(市区町村)コード131199 (c)ITABASHI CITY OFFICE All Rights Reserved.